



厚小だより

1879年開校 道東の歴史と共に歩み続ける学校

平成30年9月28日発行



実りの多い10月に

校長 秦 直人

まずもって、この度の「平成30年度北海道胆振東部地震」にて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。思い起こしてみると、昨年の9月も「Jアラート」の再度の発動や大型台風の本道上陸などがあり「危機管理」の重要性について実感したものでした。今年度も9月5日の台風21号による暴風雨のため、始業時刻を2時間遅らせる措置に続き、翌日の早朝に起きた地震により、ブラック・アウトと呼ばれる停電となり、全道的に大きな混乱となりました。

厚岸町内の学校は停電の影響で2日間の臨時休校となりました。停電中は本校でも電話・パソコンがまったく使えず、携帯電話も電波が弱くなっていくものがあり、各家庭への「安心安全メール」の送信にも不安を感じましたが、早め早めの対応でどうにか情報を提供できたことは良かったなと思っております。併せて、「防災無線」で臨時休校の連絡が流れ、家庭にしっかりと情報が伝わったことも幸いでした。今後、このような大混乱が起きないことを望みますが、電話・メールなどによる情報提供ができない場合は「防災無線」がとても大切な情報源になることが明らかになりました。各家庭でもスピーカーの乾電池を定期的に替えておくなどして不測の事態に備えておきましょう。

学校再開後、2週にわたって5、6年生が宿泊を伴う大きな行事でしっかり学習活動をしてきました。まずは5年生が「ネイパル厚岸」で宿泊体験学習を、その次の週に6年生が十勝方面で修学旅行を実施してきました。

5年生の宿泊研修では、1日目の「カヌー体験」と「きもだめし・ファイヤーストーム」を参観させていただきましたが、仲間と協力し合い、とても楽しそうに過ごしている姿が見られました。「きもだめし」にご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

6年生の修学旅行には全行程同行させていただきました。6年生らしい立派な活動ぶりで大きな学習成果をおさめて学校に帰ってきました。「個のレベルアップと集団のレベルアップ」を目標に掲げ、活動を進めましたが、「時間の管理」「まわりへの気遣い」「楽しもうとする態度」「集団としての規律遵守」などにおいて、どんどんレベルアップしていく姿がみられ、頼もしく思いました。

10月21日は本校の学芸会、2学期の中で一番大きな学校行事となります。今後、発表の日に向けて培われる「仲間とともに創り上げることによる所属感、連帯感、達成感」は他ではなかなか味わえない大きな価値があります。子ども一人一人が自分の役割や責任を果たすことで、自分のもつ良さや可能性を大きく育ててほしいと思っています。

今年度はさらに「限られた時間の中で効率よく、工夫して発表を仕上げていこう」ということを全校的にトライしていきます。各家庭でも子どもへの励ましをお願いするとともにいろいろとご協力いただくこともあるかと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎通学時のランドセル・カバン問題

今般、児童生徒のランドセルの中身や持ち物が重く、それを背負う子ども達の身体的な負担や登下校時の安全面への影響を危惧する動きが全国的に起こっています。文部科学省からも「教科書類を学校に置いて帰る」等の対策を検討するような通達が出されました。厚岸小学校でもこれらの流れを受け、現在学校で可能な対策を検討中です。詳しくは後日改めてお知らせしますが、保護者の皆様へのご理解やご協力をお願いすることも出てくるかもしれません。

◎9月の行事

～高学年が宿泊を伴う行事に出かけてきました～



< 10月の行事予定 >

日	曜	おもな予定
1	月	学芸会特別時間割開始 あたり前チェックの日
2	火	朝会（歌練習）
3	水	外国語活動（5・6年） PTA家庭教育学級（18：45～）
4	木	
5	金	学芸会使用学期搬入（昼休み） 3年生校外学習（海事記念館）
6	土	
7	日	
8	月	祝日 体育の日
9	火	朝会（歌練習） 休み時間の体育館使用禁止（～21日）
10	水	外国語活動（5・6年）
11	木	学芸会児童係打ち合わせ 図書館バス
12	金	1～3年5時間授業 4～6年6時間授業 6年生6時間目会場準備
13	土	
14	日	
15	月	児童係打ち合わせ（14：30～）
16	火	朝会（歌練習）
17	水	学芸会総練習
18	木	
19	金	合唱練習（朝会の時間）
20	土	
21	日	平成30年度 学芸会
22	月	学芸会振替休業日
23	火	学芸会后片付け
24	水	外国語活動（5・6年） 4年生校外学習〔終末処理場（予定）〕
25	木	外国語活動（3～6年） 図書館バス
26	金	児童委員会⑧ 読み聞かせ
27	土	土曜授業 中学校との合同避難訓練
28	日	
29	月	Q-U実施週間（～11月9日）
30	火	新1年生スクリーニング検査・保護者向け家庭教育学級 1. 2年生4時間授業
31	水	外国語活動（5・6年）

◎学芸会～たくさんのご観覧お待ちしております～

日 時 : 10月21日(日) 7:30開場 8:10開幕 12:10閉幕
 場 所 : 厚岸小学校体育館(保護者の方の出入り口は「児童玄関」のみとなっています)
 スローガン: **笑顔・思い出・達成感**
 ～お互い協力し、助け合う姿を観客に見せよう!～

◎平成30年度全国学力・学習状況調査

4月17日に行われた全国学力学習状況調査の結果が文部科学省から届きました。本年度は国語・算数・理科の3教科で行われました。6年生だけの実施で出題範囲も限られていますので、厚岸小学校全体の学力を完全にはかることはできませんが、大まかな全体の傾向は掴めるのではないかと思います。

今年度の本校の状況として、国語は全国平均とほぼ同数値、算数は全国平均を若干下回り、理科は全国平均とほぼ同数値となりました。

<項目ごとの考察> ○=理解・思考が良くできていた点 ●=課題となった点

☆国語A

- 文の中で漢字を正しく使う問題は高い正答率でした。文意に合う熟語を正しく書けています。
- 文の中における主語と述語の関係に注意して文を書く問題の正答率が低くなりました。日常の作文や会話の中で主語と述語が正しく使われるよう気を付けていく必要があります。

☆国語B

- 話し合いの中での発言からその発言がどのような意図をもってなされたものかをしっかりと理解することができています。
- 記述で解答する問題の正答率が全体的に低くなる傾向が見られます。特に「①目的や意図に応じ、②内容の中心を明確にして詳しく書く」事を求められる問題では①と②のいずれかの条件を満たすことができず不正解となる解答がほとんどでした。

☆算数A

- 十進法の記数、百分率、折れ線グラフの読み取り、単位量あたりの大きさを求める問題等、多くの設問で全国の平均正答率を上回りました。
- 小数で割る割り算の意味を正しく理解できていないようです。どのような場面が小数の除法で答えを求める場面になるのかという事を選ぶ問題の正答率が大幅に低くなっていました。「小数の」「除法」に限らず、「どのような場面では何算の計算をするのか」という事を普段から意識するようになる必要があります。

☆算数B

- 他から示された考えを正しく理解し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを図に表現する設問は高い正答率でした。
- 2つの異なるグラフ(棒グラフと帯グラフ)から読み取れる情報を言葉としてまとめ、説明する問題の正答率が低くなりました。単独のグラフについての説明を求められる場面では逆に正答率が全国平均値より高かったことを考えると、複数の情報を同時に処理し、考察する力に課題があると思われます。

☆理科

- 理科の内容区分の内、「地球」に関する区分の問題の正答率が高くなりました。また、理科調査全体の傾向として「知識」を問う問題、「活用」を問う問題のいずれにおいても全国平均より高い正答率となっています。
- 内容区分「物質」に関する問題の正答率が低くなりました。食塩水を水に溶かす前と溶かした後の全体の重さを問う問題では、物質が溶けても全体の重さが変わらないという法則をしっかりと押さえることができていない事による誤答が多く見られました。

※全体の考察

国語・算数共に、基礎問題であるA問題の正答率はほぼ全国平均並みでした。基礎力はおおむね身につけていますが、国語、算数共に普通の学習時に継続的に力を付けていかなければならない部分(文章表現力・問題に応じて立式する力)に課題が見られます。学校でもこの点を意識させていきますが、家庭学習や日常生活の中でもこうした面を意識させていけると良いでしょう。

応用力を問われるB問題についても正答率は全国平均に近づいてきています。これまでも「応用力」を高めていくことを課題に日常の学習活動の様々な場面で既に身につけている学習内容を積極的に使ったり(例:グラフや表、手紙文の書き方、文章での表現など)、応用力を問われる問題に取り組んでいたり(チャレンジテスト過去問週間)するなど、現在の厚岸小学校の課題に対応した取り組みを行ってきております。特に今年度は読書の時間を増やす取り組みも行ってきました。

今後もご家庭とこうした課題を共有しながら子ども達の学力向上に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。